

ハイパーネットワーク別府湾会議 2021

「クオオンタム思考で世界へ！宇宙へ！」

報 告 書

## 1. はじめに

別府湾会議は、「未来のネットワーク社会」の実現の道筋、社会的課題を共通テーマとして、日本全国・世界各国から、コミュニティで活躍する市民、研究者、企業人、政府や自治体職員など、地域と分野を越えて未来のネットワーク社会のあり方を考え、自ら構築していこうという人々が集う会議であり、1990年からほぼ2年に1回開催されており、今回で17回目を迎えました。

今回の全体テーマは「クオンタム思考で世界へ！宇宙へ！」としました。近年、IoTやAI、ドローン、アバター等の先端技術が急速に発展し、社会のあり様まで変えようとしています。また、時あたかもコロナ禍の中で、これらの技術は「新しい生活様式」を支える技術としても活用が拡大しつつあります。このような中で、明るいニュースとして、アジア初の宇宙港・大分空港からの水平型人工衛星打ち上げも間近となっており、県内企業に宇宙への挑戦機運が芽吹きつつあります。このため、「大分県から世界へ！宇宙へ！」と、今までにない斬新な発想で積極的に航海をするための羅針盤を掴めるよう、未来志向の「別府湾会議」を開催するという趣旨で開催しました。

今回、別府湾会議の企画から運営に主に携わった事務局のプロジェクトチームのメンバー全員が、今回のような会議体に関しては、初めての経験でありました。このため、4月の早い段階からテーマ、開催場所、企画、会議の構成など色々な意見やアイデアを出しながら進めてまいりました。結果として、これまでの別府湾会議とは、一味違ったものになりましたが、コンセプトはブレずに、これまでの別府湾会議のものを引き継いで構成していった次第です。出席者の皆さまにとってこれからのことを考えるきっかけになったと考えております。

おかげさまで、参加者、講演者からは多くのお褒めの言葉を頂いた一方で、時間配分や様々な意見の掘り起しなども事務局として改善すべき点もまだまだあると考えておりますので、次回の別府湾会議では次の事務局関係者に、更により良い会議体にして頂きたいと考えております。

本報告書が、多くの皆様に別府湾会議の意義を形としてお伝えできれば幸いです。

ハイパーネットワーク別府湾会議実行委員会 事務局一同

## 2. プログラム

### (1) 開催概要

開催日： 2021年12月20日（月）13:30～17:30 12月21日（火）9:00～12:00

会場： 大分市 レンブラントホテル大分 2階 二豊の間

定員： 482名（2日間延べ）

- ・会場参加 : 238名
- ・オンライン参加 : 244名（申込ベース）

参加費： 無料

主催： ハイパーネットワーク別府湾会議実行委員会

大分県、西日本電信電話株式会社 大分支店、日本電気株式会社 大分支店、富士通 Japan 株式会社 大分支社、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

後援： 総務省、九州経済産業局

協賛： 株式会社オーイーシー

運営： 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

### (2) タイムテーブル

全体テーマ：「クオンタム思考で世界へ！宇宙へ！」

#### 12月20日（月）13:30～17:30

第1部『ニューノーマル時代において、新しい価値を生み出すクオンタム思考とは』

～日常感覚の世界を飛び越えたような比類なき思考法とは～

13:30-13:40 主催者挨拶 実行委員長 青木 栄二

13:40-13:45 知事挨拶 大分県知事 広瀬 勝貞

13:40-14:00 実行委員挨拶

- ・西日本電信電話株式会社 大分支店 支店長 大村谷 輝 氏
- ・日本電気株式会社 大分支店 支店長 富森 章裕 氏
- ・富士通 Japan 株式会社 大分支社 大分支社長 日高 健司 氏

14:00-15:00 基調講演 1

「ニューノーマル時代に地方に暮らす私たちはこの時代をどう生き抜くか？」  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎

15:00-16:00 基調講演 2

「Why Japanese People！なんでやりたいことをやらないの？」  
ITベンチャー企業テラスカイ役員兼タレント 厚切りジェイソン 氏

16:00-16:10 休憩・ビデオメッセージ

大阪大学名誉教授／特任教授 東京大学特命教授 井元 信之 氏

インタビュアー：公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員  
会津 泉 氏

16:10-17:30 パネルディスカッション「クオンタムな時代のウェルビーイング」

コーディネーター：公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 所長 青木 栄二

パネリスト：

住友商事株式会社 Quantum Transformation プロジェクト代表 寺部 雅能 氏

富士通株式会社 Employee Success 本部 深町 弘明 氏

エシカルコーディネーター 久米 彩花 氏

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎

ITベンチャー企業テラスカイ役員兼タレント 厚切りジェイソン 氏

## 12月21日(火) 9:00～12:00

第2部『アジア初水平型宇宙港×先端技術×DX』～明るい未来と活力の源の創出～

9:00-9:50 基調講演1「大分から広がる人工衛星打ち上げ関連ビジネスの可能性について」

一般社団法人スペースポートジャパン 理事 新谷 美保子 氏

9:50-10:40 基調講演2「宇宙と地域を活性化する新しいサービス創出について」

一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンター 専務理事 高山 久信 氏

10:40-10:50 休憩

10:50-11:55 パネルディスカッション「宇宙ビジネスの可能性」

コーディネーター：大分県商工観光労働部 先端技術挑戦課長 佐藤 元彦 氏

パネリスト：

株式会社 QPS 研究所 執行役員開発部長 博士(工学) 上津原 正彦 氏

日本電気株式会社 電波・誘導事業部 シニアエキスパート 石井 孝和 氏

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎

一般社団法人スペースポートジャパン 理事 新谷 美保子 氏

一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンター 専務理事 高山 久信 氏

11:55-12:00 閉会挨拶

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 専務理事 高屋 博

※総合司会：大分県出身 フリーアナウンサー 幸 綾音様

両日開催 オンライン展示会

出展社名	展示タイトル	展示概要	12/20 (月)	12/21 (火)
株式会社 loZ	AI 顔認証受付 管理 システムアプリ 「FaceIndex」	AI 顔認証受付管理システムアプリ「FaceIndex」は、専用機器を必要とせず、iPad・iPhone で顔認証ができますので簡単にご利用いただけます。入室時に顔認証することで、関係者のスマホに情報を通知したり管理画面で履歴を確認することができます。また、検温機器・スマートロックとの連動や、WebAPI によるシステム連携にも対応しております。	14:00 ～ 14:15	9:00 ～ 9:15
株式会社 佐々木精工	佐々木精工会社 概要紹介 ロボット／画像 処理を使った自 動機設計／製作 精密部品加工と 部品調達代行	当社の主な事業は自動機設計/製作事業と精密部品加工事業である。前者では、「設計・加工・組立・制御までの一貫した生産体制」のもと、省力化設備の開発、製造実施中。後者では、あらゆる材質に対応しており、一品より月産数万個の量産対応も可能で短納期・高品質の加工を実施。最新の横型マシニングセンター、5軸複合旋盤や円筒研削盤、三次元測定機を保有。主要取引先は、トヨタ自動車九州等の自動車関連企業である。	14:15 ～ 14:30	9:15 ～ 9:30
日本電気 株式会社 大分支店	宙から地球を知 ること。それ は、守ること	宙(そら)から地球を知ること。それは、守ること。人工衛星を活用した、安全・安心な街づくりや毎日の美味しい食事など、新たな取り組みをご紹介します。動画です。	14:30 ～ 14:45	9:30 ～ 9:45
富士通 Japan 株式会社 大分支店	ニューノーマル 社会における働 き方改革を支援 するソリューション 『FUJITSU Software TIME CREATOR』	テレワークなど場所にとらわれない多様な働き方のマネジメントには「労働時間を適正に管理できない」「業務内容を把握できない」などの課題を解決する仕組みづくりが欠かせません。FUJITSU Software TIME CREATOR は、時間外労働のマネジメント強化や業務内容の可視化により、これらの課題を解決します。	14:45 ～ 15:00	9:45 ～ 10:00

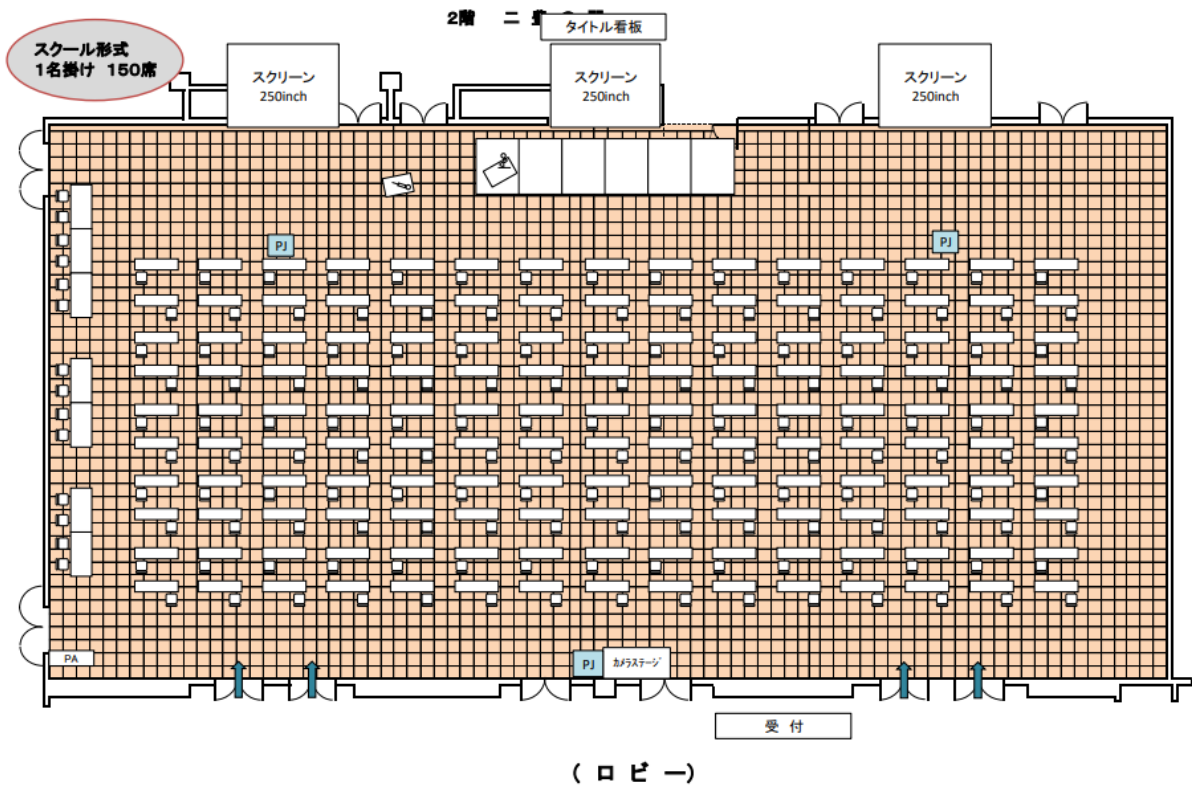
株式会社 STOVE	エンジニア X ～システムに魂 が入る瞬間～	これまで、どの Sler に相談してもシステム化して もらえなかったシステムを開発致します。現場で職 人さんや、担当者にしか判断できないような業務や 作業のノウハウを、いちからヒアリングしシステム に落とし込み、システムに魂を導入するまでのノウ ハウをご紹介します。	15:00 ～ 15:15	10:00 ～ 10:15
西日本 電信電話 株式会社 大分支店	NTT グループ公 式ビジネスチャ ット elgana(エ ルガナ)ご紹介	ビジネスにおいて、テレワーク、外出先、オフィス 内での迅速なコミュニケーションを支援する NTT グループ公式のビジネスチャット elgana(エルガ ナ)のご紹介です。100 万 ID 以上の導入実績があ り、シンプル操作、安心のセキュリティ、手厚い運 用サポートによりワークスタイルを「快適」に 「効率化」します。	15:15 ～ 15:30	10:15 ～ 10:30
ブレイクアウトルーム自由観覧			14:00 ～ 17:00	9:00 ～ 12:00

### (3) 会場概要



〒870-0816  
大分県大分市田室町 9-20  
Tel : 097-545-1040  
URL : <https://rembrandt-group.com/oita>

1・2日目 会場 2階 二豊の間



### 3. 関係者プロフィール（講演者、パネリスト、司会等）

#### ・【第1部】12月20日（月）

ニューノーマル時代において、新しい価値を生み出すクオンタム思考とは ～日常感覚の世界を飛び越えたような比類なき思考法とは～

#### (1) 基調講演1

##### [テーマ]

「ニューノーマル時代に地方に暮らす私たちは、この時代をどう生き抜くか？」

##### [趣 旨]

「まさか」と思うことが当たり前となるニューノーマル時代に、クオンタム思考法を用いて、どう生き抜くのかについてご経験に基づいて、ご講演。

##### [講演者1]

村上憲郎事務所 代表

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎



京都大学で工学士号を取得。日立電子のミニコンピュータのエンジニアとしてキャリアをスタート後、米国 DEC 本社人工知能技術センターに5年勤務し、帰国後はDEC Japanのマーケティング担当取締役などを歴任。その後Northern Telecom Japan 社長兼最高経営責任者、Nortel Networks Japan 社長兼最高経営責任者、Docent Japan 社長を歴任し、2003年4月 Google 米国本社副社長兼 Google Japan 代表取締役社長として Google に入社以来、日本における Google の全業務の責任者を務める。2011年に退任し、現在まで村上憲郎事務所の代表として活躍中。2018年6月ハイパーネットワーク社会研究所の理事長に就任。他に東京工業大学学長アドヴァイザリボード委員、大阪工業大学客員教授、会津大学参与など。



## (2) 基調講演 2

### [テーマ]

「Why Japanese People! なんてやりたいことをやらないの?」

### [趣旨]

日本人の生活や労働スタイル、商慣習については「周りの意見に左右されすぎ、小さな頃からそうすべきだと教え込まれている」、「無駄な会議、作業、資料作成が多すぎる」など、個々の意見や活動を尊重し、労働現場をもっと合理化すべきであると考えます。ニューノーマル社会の国際的な目線、日本の目線の両方から、ご講演。

### [講演者 2]

ITベンチャー企業テラスカイ 役員兼タレント 厚切りジェイソン 氏



1986年生まれ。日本のお笑い番組を観て日本語を勉強した。漢字の書き取りは毎日。

ミシガン州立大学卒業（入学は17歳で飛び級!）

その後イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校の大学院を卒業。現在はIT企業の役員もやっている二刀流。

主な出演情報

レギュラー

▼NHK-Eテレ「えいごであそぼ with Orton」

▼NHK-Eテレ「Why!?!プログラミング」

## (3) ビデオメッセージ

### [ビデオメッセージ]

大阪大学 名誉教授 井元 信之 氏



大阪大学理学研究科附属基礎理学プロジェクト研究センター特任研究員

NTT 基礎研究所時代に日本で最初に量子情報処理(量子コンピューターと量子暗号)の研究を開始し、1992年に解説記事を翻訳、1995年量子暗号論文を出版する。以後総合研究大学院大学教授を経て、大阪大学大学院基礎工学研究科教授となり、Nature や Nature Photonics など論文総数約 250、トップ 1%が 3本、トップ 2%が 2本等トップ 90%以上 22本(10月2日 SCOPUS データ)。2018年4月より大阪大学名誉教授とともに現職。異分野の統合化と局面展開から物理と情報科学の統合を目指す。

### [インタビュアー]

多摩大学情報社会学研究所 主任研究員・教授

ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員 会津 泉 氏



情報社会のあり方に関する研究・調査に従事。利用者中心の視点でパソコン通信、インターネットの普及を推進。1985年ネットワークデザイン研究所を設立、1991年新設の国際大学GLOCOMに参加、1993年ハイパーネットワーク社会研究所（大分）の設立に参画、1997年アジアネットワーク研究所（クアラルンプール）を設立。アジア・途上国のネットの普及、インターネットガバナンス、世界情報社会サミット（WSIS）などグローバルな政策議論・制度構築に参加。自治省、総務省、経済産業省などの審議会・研究会委員を務めた。東日本大震災後「情報支援プロボノ・プラットフォーム（iSPP）」設立に参画、ICTによる被災地支援・調査に従事。2012年より「ソーシャル・ファブ」、2015年より「ネクストモビリティ」の推進に取り組んで現在に至る。現在「情報支援レスキュー隊（IT DART）」運営委員、「ネクストモビリティ・コミュニティ」世話人。

## (4) パネルディスカッション1

### [テーマ]

「クオインタムな時代のウェルビーイング」

### [趣旨]

私たちは持続的に「幸せ（ウェルビーイング）」になれるように、日々暮らしている。コロナ、環境問題、少子高齢など様々な要因で、従来の考え方、働き方、私たちの行動に変化を求められる時代に、どのようなことが「幸せ（ウェルビーイング）」に繋がるのかを夫々の視点から話し、ディスカッションする。

### [パネリスト1]

立命館アジア太平洋大学卒 エシカルコーディネーター 久米 彩花 氏



1997年生まれ。衣食住を切り口に、エシカルな消費を広め、途上国の搾取労働をなくすというビジョンを持って活動中。高校2年から国際協力に取り組み、途上国の綿花農家や工場を訪問し、生産者が抱える問題を調査。19年10月よりフードロスを活用し料理を提供する Trash Kitchen を別府市にオープン。モデルや講演など幅広く活動している。立命館アジア太平洋大学国際経営学部を卒業。現在は、環境問題に取り組む東京の企業に勤務し、環境配慮型のアパレルブランドのモデルやPR活動に従事。

### [パネリスト2]

住友商事株式会社 Quantum Transformation プロジェクト代表 寺部 雅能 氏



学生時代からバックパッカーとして世界63か国、主に発展途上国で貧乏旅をしてきた冒険家。株式会社デンソーの先端技術研究所に所属し、自動車や工場がインターネットにつながり大きな変化に直面するなか、面白いハードウェアを使って新しいことができないかと探していたときに量子コンピューターに出会い、6年前からデンソー社内で量子コンピューターの事業化に向けたアプリケーション研究リーダーとして数々の実証実験に取り組んだ。現在は住友商事株式会社 Quantum Transformation プロジェクト代表として量子コンピューティングの社会実装分野で数多くの世界初実証・社外発信の活動を行う。

### [パネリスト3]

富士通株式会社 Employee Success 本部 深町 弘明 氏



富士通人事担当者であり、大分県内に移住やワーケーションすることに関心がある社員に、県内の住環境や、別府などの温泉地や県内の離島にある共有オフィスなどについて働き方改革を説き、社内の新しい働き方、さらには社会全体の働き方のモデルケースになればと奮闘している。

・【第2部】12月21日（火）

アジア初水平型宇宙港×先端技術×DX ～明るい未来と活力の源の創出～

(1) 基調講演 1

[テーマ]

「大分から広がる人工衛星打ち上げ関連ビジネスの可能性について」

[趣 旨]

宇宙港による人工衛星打ち上げによるビジネス展開が本格化すると、どのような分野で県内企業や県民が関わることができるのか？また、人工衛星打ち上げをきっかけとして、将来的に広がる可能性のある宇宙ビジネスの展開について、ご講演。

[講演者 1]

一般社団法人 スペースポートジャパン 理事 新谷 美保子 氏



バンクーバー（カナダ）生まれ。2001年に慶應義塾大学を卒業。2006年第一東京弁護士会登録、TMI 総合法律事務所入所。2017年より宇宙航空研究開発機構（JAXA）非常勤招聘職員、2020年1月より TMI 総合法律事務所パートナー。知財戦略支援及び訴訟のほか、AI/IoT/データ（保護法制、取引）/宇宙航空/情報・通信・メディア・ITに関する分野について特に造詣が深い。2021年セルム社外取締役役に就任。

(2) 基調講演 2

[テーマ]

「宇宙と地域を活性化する新しいサービス創出について」

[趣 旨]

衛星データを活用し、製品やサービスに付加価値を創出することや、衛星データを活用した地域課題の解決を目指して、こういった取り組みを進めているのか、また宇宙（産業）についての普及啓発活動や宇宙に携わる人の人材育成についてご講演。

## [講演者 2]

一般社団法人 おおいたスペースフューチャーセンター 専務理事 高山 久信 氏



1954年12月、大分県豊後大野市生まれ。

宇宙分野の各種新規プロジェクトの企画・提案・交渉、事業戦略並びに企画活動に従事。

宇宙ビジネスコーディネーターとして、各地域の事業化支援。宇宙関連機関、大学、団体や宇宙企業並びに非宇宙企業等との幅広いネットワークを保有。宇宙ビジネス情報サイトのコラム執筆や保育園や小学校での宇宙教室の講師活動なども行っている。

## (3) パネルディスカッション 2

### [テーマ]

「宇宙ビジネスの可能性」

### [趣 旨]

多面的な視野から、水平型宇宙港×先端技術×DX という、衛星データの利活用まで含めた全体的な宇宙ビジネスについて、どのような明るい未来になり得るのか、また私たちはどのような関わりが持てるのかをディスカッションする。

## [パネリスト 1]

日本電気株式会社 電波・誘導事業部 シニアエキスパート 石井 孝和 氏



SAR と呼ばれる技術による防災や減災に関して取り組む。SAR による画像生成とその解析は、安全・安心な都市づくりの基盤となる技術として、社内のスマートシティプロジェクトの部門とも連携し、まちづくりに SAR をいかしていく道筋を構築している。



## [パネリスト2]

株式会社 QPS 研究所 執行役員 技術部長 博士 (工学) 上津原 正彦 氏



九州大学大学院工学部航空宇宙工学専攻修了。工学博士。在学中に宇宙機ダイナミクス研究室でスペースデブリ(宇宙ゴミ)に取り組む IDEA(アイデア)プロジェクトを開始。スペースデブリ環境を予測し、小さなゴミを観測する人工衛星の開発に企業と一緒に取り組む。早い段階から持続可能な宇宙開発を考え、博士取得後もスペースデブリ除去サービスの開発をする宇宙ベンチャーへ。2018年 QPS 研究所に入社。小型レーダー衛星 QPS-SAR 開発のプロジェクトリーダーとしてチームを牽引するスペースエンジニア。

## 4. 講演概要

### 【基調講演1】

テーマ : 「ニューノーマル時代に地方に暮らす私たちは、この時代をどう生き抜くか?」

講演者 : 村上 憲郎 (公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長)

### 【講演の概要】

「ニューノーマル」という言葉は、コロナというパンデミックの結果として、これまでの生き方や働き方、人生の過ごし方を抜本的に考え直さなければならないという意味合いの言葉として私たちの間に広まった。

一方的にコロナに強いられるニューノーマルというのではなく、2日間の議論の出発点になるような以下の新しい5つの技術動向について紹介。

#### 1. クオントム (量子)

電子計算機から量子計算機 (量子コンピューター) へ

#### 2. インターネット

スマートフォンのモバイルインターネットからウェアラブルへ、更にインプラントへ

#### 3. 5G の超多数同時接続で AI/IoT 時代の ICT 基盤

#### 4. スマートシティの中心テーマであるエネルギー動向 核融合炉の開発

5. ニューノーマル時代の働き方の変化当時、働き方改革など無いときに R&R ってなんだろうかと、20年かかっても難しくてなかなかわからないところですが、とりあえず実践していかなきゃということで、来年早々には、(スライド)これ、姫島村の海です。姫島にハイパー研のオフィスを造ろうと考えております。私自身も年末に引っ越します。こういう豊かな海、青い色というのが姫島村には満載です。そういう空気が流れています。夕暮れだとこんな感じですね。そういう R&R というのを

まさにハイパー研が実践していくべきだと、この別府湾会議を通して考えていきたいと思っています。ただ今日のテーマは「先端技術を活用した地域課題の対応と事業創生」と、やはりビジネスもしっかり考えていかなければいけないというところで AI、IoT そして今日のテーマである GPU の活用を通して創造する未来を皆さんと一緒に考えて生きたいと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

## 【基調講演 2】

テーマ：「Why Japanese People！なんでやりたいことをやらないの？」

講演者：厚切りジェイソン氏（IT ベンチャー企業テラスカイ役員兼タレント）

## 【講演の概要】

IT をやるために来日、今まで自分がどういう人生を歩んできたのか、キャリアに対する価値観・考え方、これから新しく挑戦し続ける視点について話をする。アメリカは大変な競争社会、早い時期から将来を決めて、早い段階で必要なスキルを磨き始めないとキャリアを作れない。

私は若い時から IT をやりたかったので、IT スキル+付加価値（日本語）で自分だけの価値を磨いて勝負してきた。無責任な挑戦（全財産を人生のワンチャンスに賭ける一か八かの挑戦）ではなく責任のある挑戦（後戻りできる挑戦）が成功の秘訣であることを3匹の子豚を例に時代に合った独自の考え方で説明。シリコンバレーでよく使われている MVP（Minimum Viable Product、最低限の必要とされるもの・こと・製品）が大事。目標を結果（達成や失敗）で考えるのではなく、行動で考える、最低限リスク管理の目標設定を行うことで続けていくことが大事。自分なりの勝負所、組み合わせた専門性を作るのもいいし、次々挑戦した方がいい。その時には次の挑戦ができる余裕を残した方が、成功する道を見つける可能性が高くなる。

## 【パネルディスカッション 1】

テーマ：「クオンタムな時代のウェルビーイング」

パネリスト：

- ・久米 彩花（エシカルコーディネーター）
- ・寺部 雅能（住友商事株式会社 QuantumTransformation プロジェクト代表）
- ・深町 弘明（富士通 Japan 株式会社 Employee Success 本部）
- ・村上 憲郎
- ・厚切りジェイソン

コーディネーター

- ・青木 栄二（公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 所長）

趣旨：

私たちは持続的に「幸せ（ウェルビーイング）」になれるように、日々暮らしている。コロナ、環境問題、少子高齢など様々な要因で、従来の考え方、働き方、私たちの行動に変化を求められる時代に、どのようなことが「幸せ（ウェルビーイング）」に繋がるのかを夫々の視点から話し、ディスカッションする。

概要：

[寺部様]

- ・今後、量子コンピューター・コンピューティングをサービスとして社会に実装していくのか？
- ・量子コンピューターは 10 年・20 年かけて社会を変えていくと言われている
- ・社会が変わるのか？よく分かってない
- ・量子コンピューターのポテンシャルからすると模索段階
- ・QXクオンタム・トランスフォーメーション  
空飛ぶクルマ 2030 年代には 1 都市の上を数十万代が飛ぶ？  
→量子コンピューター × 空飛ぶクルマ  
量子コンピューターがクオンタムな時代のウェルビーイングのキーポイントになる

[深町様]

- ・富士通はワーケーションの取り組みとして”移住・ワーケーションに関する協定”を大分県と締結（2021 年 3 月）
- ・WorkLifeShift により、最適な働き方の実現、オフィスのあり方の見直し、社内カルチャーの変革に取り組んできた。  
現在「Work と Life のシナジーの追及」社会と個人が双方に求められる Well-being を実現して、働き甲斐を求めていく「働き甲斐改革」を行っている。
- ・日本全体の雇用問題、就社から本当の意味での就職にする。

[久米様]

ジェネレーション Z 世代久米氏は、独自の視点で Well-being について語った  
本当の豊かさとは何か？幸福度、沢山消費する生活から、物を大切にする生活  
ゴミと言う概念の無い世界、ゴミから資源へ発想の転換へ

[来場者へのオンライン質問実施]

(質問 1)

2021 年の世界幸福度ランキングで、日本は何位だったと思いますか？

(回答 1)

- 1 位 56 位 回答数 48 ○正解
- 2 位 98 位 回答数 40 ×
- 3 位 17 位 回答数 15 ×
- 4 位 3 位 回答数 2 ×



(質問2)

量子コンピューターについてのイメージを教えてください。

(回答2)

人間の能力を遥かに超える存在、正直よくわからない、計算が早い、未知すぎて怖い

[村上様]

カナダの商用量子コンピューター企業 D-Wave 量子コンピューティング、量子アニーリング  
日本語で「量子焼きなまし法」とも呼ばれ、パラメータを設定して、量子力学を利用して位置  
エネルギーの一番低いところで安定した状態を観測することで答えが出ます。

組み合わせ最適化問題に応用したアナログ的なコンピューターです。

[寺部様]

QXクオンタム・トランスフォーメーション

空飛ぶクルマ 2020 年代実用化され始め、2030 年代には 1 都市の上を数十万代が飛ぶ

(質問3)

生活環境で重視するのはどういった点ですか？

(回答3)

教育・文化環境、医療・福祉サービスの充実、食の充実

[久米様]

Well-being 社会性 地球温暖化・環境問題

(質問4)

皆さんが今最も関心のある日本の社会問題は何ですか？

(回答4)

少子高齢化・人材不足、気候変動・環境問題

### 【基調講演3】

テーマ：「大分から広がる人工衛星打ち上げ関連ビジネスの可能性について」

講演者：新谷美保子（一般社団法人スペースポートジャパン 理事）

### 【講演の概要】

- ・ 1000年で飛行機ができ、人が自由に行き来できるようになった。1900年から人口増加やイノベーションにより、人間が産業革命を起こしてきた。
- ・ 宇宙で人が暮らすことは現実になる。火星には 2060 年に住む計画がある。これからの1000年はこれまでの倍速で発展、進化していく。
- ・ イーロンマスク、ジェフベゾスは宇宙関係、通信インフラ整備（衛星を複数 打ち上げて、6G次元のネットワーク整備）で競い合っている。これから人類は地球上の環境を変えていく。
- ・ 宇宙関連の法律は 1960 年代から国連が4条約を整備したが、その後が進んでいないため、4条約を批准している。

- ・日本は、2016年に2法が成立している。宇宙活動法と衛星リモートセンシング法、2021年に宇宙資源法が成立した。世界4ヶ国目である。
- ・宇宙ビジネスに特有のリスクがある。理由は①宇宙環境の過酷さ、②事例の積み重ねがない③宇宙空間に故郷がない。このため、リスクを関係当事者間で誰にどう分配するかが大切。
- ・宇宙ビジネスで、40兆円のうち、日本はまだ官需がほとんど。これからスタートアップの民需が伸びてくる。
- ・宇宙に関する新規事業をアイデアレベルで民間企業とディスカッションし、上手くいきそうであれば、実証レベルに行く。
- ・宇宙は場でしかなく、色々な産業分野と連携し、事業を行っている。
- ・日本では有人宇宙飛行ができない。そのような中で取り残されないように、日本も離発着ができるよう、宇宙関連産業を振興するためスペースポートジャパンを立ち上げた。
- ・日本では宇宙港という要件はないが、アメリカなどは要件を満たしたところが宇宙港としている。日本では水平離着のスペースポートはまだない。長期的には2地点間飛行が見込まれる。
- ・持続可能な宇宙であるために、秒速何キロで動く宇宙ゴミ（デブリ）をビジネスで解決していきたい。JAXAと日本企業がこれを除く事業（CRD2）を検討している。
- ・衛星打ち上げ射場の不足について、衛星コンステレーションとその維持に必須である。グローバル全体で何が良いかを模索すべき時。

#### 【基調講演4】

テーマ「宇宙と地域を活性化する新しいサービス創出について」

講演者：高山 久信（一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンター 専務理事）

#### 【講演の概要】

- ・宇宙産業について、国際航空連盟が高度100kmから上を宇宙と定義している。宇宙を3つのシステム（ロケット、衛星、アンテナなどの地上システム）に分けて、データの利活用を主に産業が拡大してきている。
- ・打上サービスはJAXAではなく、民間の三菱重工が行っている。データプラットフォームも民間の色々なプレイヤーが製作、宇宙産業に参入。
- ・データ利活用も小さなものでは、大学生がPC1台で起業するケースもある。現在は40兆円の規模であるが、ハードウェアは10%のみで他は衛星サービスやそれを使ったエンターテインメントなどである。右肩上がりです。2040年には110兆円に上る。宇宙製作、ビジネス関係はほとんど全体の省庁が絡んで、予算をつけている。
- ・今後20年を見据えた10年間の国の基本方針を描いた宇宙基本計画を策定。令和4年度の宇宙予算は4800億円で10%ずつ上がっている。
- ・宇宙港選定での大分県の強みは「3000m級の滑走路」「長い歴史のある地域産業：機械産業が多いため、部品調達がすぐできる」「豊富な観光資源：衣食住やリフレッシュできる環境が整っている。」

- ・宇宙産業は今後色々と広がりを見せている。人工衛星、ロケットだけでなく、AI、3D プリンタ、宇宙服、芸術文化など様々な分野の方が動き始めている。
- ・暮らしのなかで使われる宇宙利用分野は「通信・放送分野、気象・地球観測分野、衛星測位分野」が今後発展する。例えば、DX で地上の情報と衛星から入手する情報を組み合わせて、新たな使い方を模索する動きが出ている。
- ・衛星データを使って、土地の隆起も分かるため、例えば都市開発などにも活用できる。スペースポートによる物流拠点になることで、大分県では5年間で100億円の経済効果を想定。このように、スペースポートを起点に新たな街づくりをして、宇宙の玄関口に、大分を盛り上げていきたい。

## 【パネルディスカッション2】

テーマ：「宇宙ビジネスの可能性」

パネリスト

- ・新谷 美保子（一般社団法人スペースポートジャパン 理事）
- ・高山 久信（一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンター 専務理事）
- ・村上 憲郎（公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長）
- ・石井 孝和（日本電気株式会社 電波・誘導事業部 シニアエキスパート）
- ・上津原 正彦（株式会社 QPS 研究所 執行役員 技術部長 工学博士）

コーディネーター

- ・佐藤 元彦（大分県 商工観光労働部 先端技術挑戦課長）

趣旨：

多面的な視野から、水平型宇宙港×先端技術×DX という、衛星データの利活用まで含めた全体的な宇宙ビジネスについて、どのような明るい未来になり得るのか、また私たちはどのような関わりが持てるのかをディスカッションする。

概要：

[上津原様]

- ・スペースデブリについて、仮説やそれに基づいた観測、検証を行っていた。人工衛星を含めた宇宙技術は地上で立てた仮説と、それを打ち上げて運用する形であり、それは大変モチベーションが高まる。
- ・人工衛星を作る中で感じることは、技術が標準化されてきている。その恩恵を製作する際受けており、コストや期間も短縮できる。また、打ち上げ機会について、色々なものの相乗りでは細かなニーズに対応できないため、小型ロケットの打ち上げサービスが増えてくると思う。
- ・データについて、地球をより高頻度、高精細、波長などで観測し、そのデータを展開することができており、それによってよりパーソナルなデータにより、色々なサービスやビジネスができてくると思う。

・宇宙でやりたいことを考え、叶える手段を今あるハードウェア、データを組み合わせることも大切。  
[石井様]

- ・自分は、夢を持って色々なことに取り組んだ結果、宇宙にたどり着けた。衛星のデータを利活用する①通信サービス関係②測位：高精度測位機能を活用したサービス③リモートセンシング：光学衛星等が主である。③は、防災例 えばmm単位の地盤変動なども把握できるこのため、広域のインフラ維持管理に活用する動きもある。これから延びていく市場なので、NECも大分県と一緒にやっていきたい。
- ・大量のデータをどう扱うのが大切なので、プラットフォームを構築。例えば大分県であれば都市のOSスマートシティ、スーパーシティ（衛星データ、お客様データ）を作り、AIなどを使うことなども考えられる。

[村上様]

- ・若い人には「興味を持って、ワクワクしながら、取り組んで勉強してほしい」と思う。

[新谷様]

- ・宇宙ビジネスは日本が大幅に遅れているが、その覇者は決まっていないので、デブリ回収などなくてはならない産業分野を取っていく必要がある。このため選択と集中分野を決めてそこを日本が取っていくことが大切である。色々なプレイヤーがあって産業が成り立つので、若い人が今後色々なことに関わって日本の宇宙産業に貢献していただきたい。

[高山様]

- ・QPSがモノづくりで先行しているが、多くのものを標準化して製作するなどのニーズが出てくれば、大分県内でQPSのOEMで製作するなども良い。
- ・各省庁でのプラットフォームも作っているが、オープンになっていないので、リンクさせる技術が必要。大分もエジソンというプラットフォームがあるので、オープンにしていく必要がある。横串を刺したり、サーチする必要がある。また、衛星データを使うという人が足りていない。課題解決は地域ごとに違うので、使う衛星データも地域によって何を使うか考える必要がある。
- ・自分は会社の領域を超えて、新たなことにも取り組み、社団法人を作った。そのような場では、色々な違う領域の人と議論をして刺激を受けることが大切。レベルに併せて外に出ていき、宇宙に関する説明、交流をする場を作っていくことが大切。「おおいたスペースフューチャーセンター」をそのような場で活用してほしい。

[新谷様]

- ・若い人には勉強ではなくても良いが、自分がやりたいことについて時間を大切に、毎日を大切にしながら取り組んでほしい。

## 5. 記録写真

### (1)第1部



[会場の様子]



[運営の様子]



[出席者の様子]



[諸連絡の様子]



[開会挨拶 1 (青木委員長)]



[開会挨拶 2 (青木委員長)]



[知事挨拶 1 (広瀬知事)]



[知事挨拶 2 (広瀬知事)]



(1)第1部



[実行委員挨拶 (大村谷支店長)]



[実行委員挨拶 (富森支店長)]



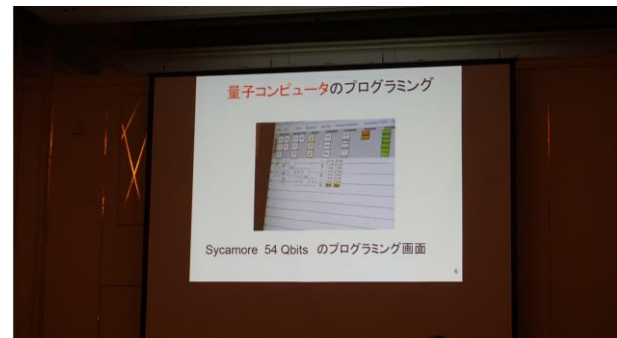
[実行委員挨拶 (日高支社長)]



[基調講演1-1 (村上理事長)]



[基調講演1-2 (村上理事長)]



[基調講演1-3 (村上理事長)]



[質疑応答1]



[質疑応答2]

(1)第1部



[質疑応答2]



[質疑応答3]



[基調講演2-1 (厚切りジェイソン氏)]



[基調講演2-2 (厚切りジェイソン氏)]



[基調講演2-3 (厚切りジェイソン氏)]



[基調講演2-4 (厚切りジェイソン氏)]



[パネルディスカッション1-1]



[パネルディスカッション1-2]



(1)第1部



[パネルディスカッション1-3]



[パネルディスカッション1-4]



[パネルディスカッション1-5]

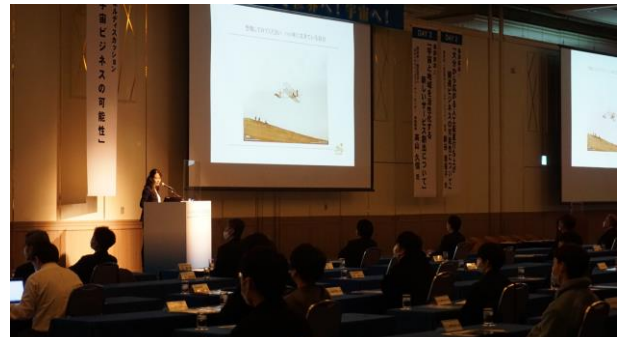


[パネルディスカッション1-6]

(2)第2部



[基調講演3-1 (新谷氏)]



[基調講演3-2 (新谷氏)]



[質疑応答3-1]



[質疑応答3-2]





[基調講演 4-1 (高山氏)]



[基調講演 4-2 (高山氏)]



[基調講演 4-3 (高山氏)]



[パネルディスカッション 2-1]



[パネルディスカッション 2-2]



[パネルディスカッション 2-3]



[質疑応答 1]



[質疑応答 2]



[閉会挨拶 1 (高屋専務理事)]



[閉会挨拶 2 (高屋専務理事)]

### (3) 両日



[展示パネル 1-1]



[展示パネル 1-2]



[展示パネル 1-3]



[受付対応の様子]



[TV取材の様子]



[オンライン展示対応の様子]

## 6. 事務局レポート

### (1) 参加者集計

定員：482名（2日間延べ）

・会場参加：238名

・オンライン参加：244名（申込ベース）

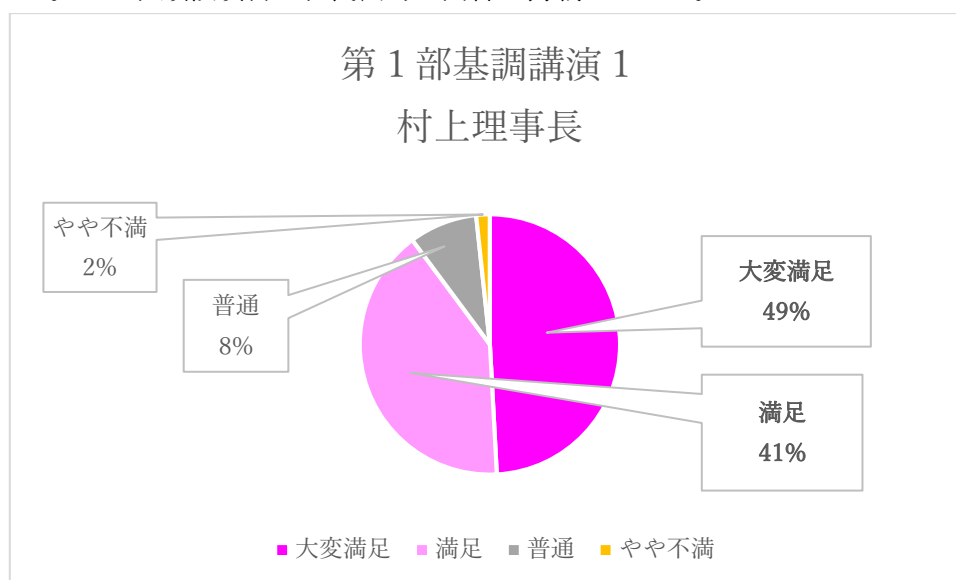
※ 会場のキャパシティや材料個数制限等の理由で開催前に受付を終了。

### (2) 参加者アンケート集計

#### 参加者アンケート集計

1日目講演と2日目講演それぞれにてアンケートを実施し、集計している。

参加者の意見・感想については、基本的に原文で、前半に満足系、後半に不満系の意見・感想を掲載している。なお、類似項目は、代表的な回答を掲載している。



#### <参加者の意見・感想>

とてもためになりました！

非常に勉強になりました！

これからの地方戦略をじっくりと考えるきっかけとなりました

非常にわかりやすく説明いただき、十分に理解できました。

通常、このようなフォーラムの講演の場合、難しく理解出来ず居眠りをしてしまいますが、その様な事はなく、終始ワクワクしながらききました。

クオラム思考をはじめて書きました。スケールの大きい話だと思いましたが、近い将来、私たちの日常になるのだと思います。

内容が豊富で説明も分かりやすかった。

見識高い内容で参考になりました

貴重なご講演で勉強になりました

新しい技術など大変わかりやすく興味を持てる内容でした。

最先端技術と人類、自然、環境がうまく共存できたら良いと思います。

時節にあったテーマで興味深いお話しでした。

初めて聞くワードや少し難しい内容でしたが、わかりやすく解説していただき、また大所高所からのご意見をいただきました。ありがとうございました。

知らない情報が多く大変勉強になりました。

広範で先進の話題の勘所をわかりやすくお話しいただきました。

正解がどこにもないニューノーマル時代だから、クオインタム思考法が必要だということがわかりました。

GIGA スクールの目的は、分数の割り算に疑問を持つような子供をすくい上げ、世の中の役に立つ人に育てることという考えに共感しました。

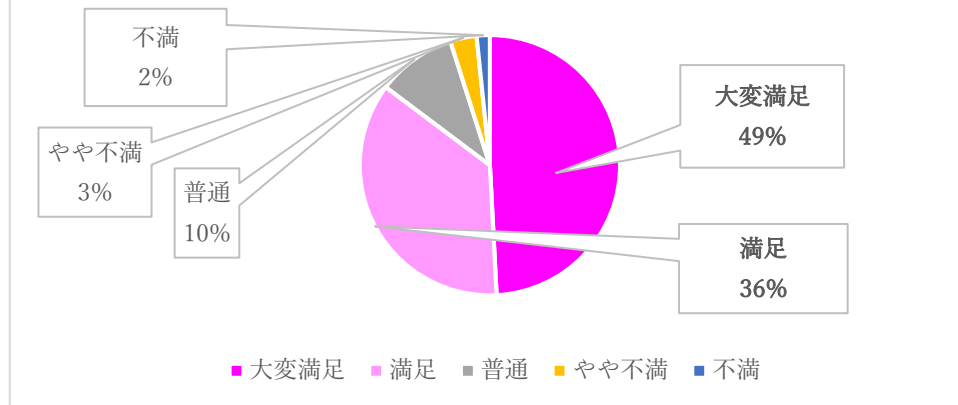
クオインタム思考を少年時代のエピソードに例えて解説してくださったので、とても分かりやすかったです。

クオインタム思考は良くわからなかった。しかし、ニューノーマル時代の生活や世界の動きなど、興味深い話が聞けて勉強になりました。

専門的で理解できない点があった



## 第1部基調講演2 厚切りジェイソン様



### <参加者の意見・感想>

面白かったです。現代の日本人に足りない感覚を、ユーモアを交えて忸怩なく的確に指摘する姿勢は、ただのエリートでもない、ただのお笑い芸人でもない、オンリーワンの立場にいるジェイソンだからこそ辿り着いた含蓄に溢れており、非常に説得力がありました。

分かりやすかったです。

人材の大切さとキャリアの作り方が大変参考になりました。

不確実性に関する例えが斬新な感じで、楽しく分かりやすくお聴きました。

三匹の子豚の話の考え方が180度変わりました。

流石、厚切りジェイソンと思いました。途中音声がおかしかったのは残念です。

テレビで拝見するタレントの面とまた違った本業からのご意見をいただきありがとうございます。身近に感じられる、とても興味深い内容でした。

キャリア教育の観点からすべての日本人に聞かせたい内容だった。特攻精神から脱却し、小さく始めて塵も積もれば山となる自由な社会をつくりたい。

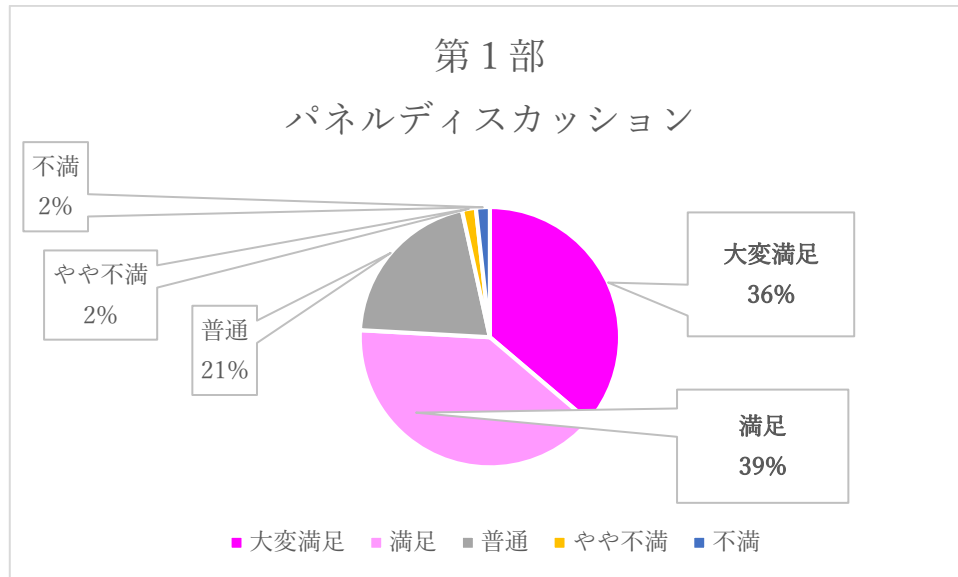
リスクを最小限に準備すること、常に自分の存在のポジショニングを冷静に考えて、次の戦略を練るなど、勉強になりました。

若い人にあてたスキルアップのお話は面白かったです。

学生時代から現在に至るまでの具体的な目標達成法が聞けて、参考になりました。

何度でも挑戦する事が大事。ただし、すべてを掛けて後戻りできないような挑戦は良い挑戦でない。何度でも挑戦できるような余裕が必要ということを学びました。

教育に対する日米の考え方の違いを知ることが出来て、有意義でした。



### <参加者の意見・感想>

貴重なご講演で勉強になりました

企業での取り組み実例を交えたお話が特にイメージし易く、参考になりました。

個別最適から全体最適へ、就社から就職へ、副業から復業へ、大量消費社会から持続可能社会へなど数々のヒントが得られた。

富士通のお話しはすごかったです、時代の変化を感じることができました。

2030年代にはクルマが空を飛ぶ社会が実現するのではないかという話し。大変興味深く聞きました。

量子コンピュータの重要性を認識しました。

寺部さんの話もっと聞きたい

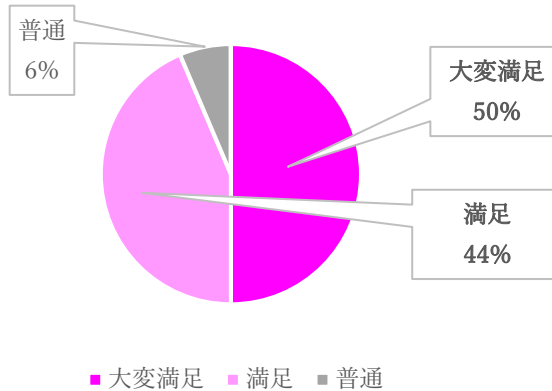
様々な経験をお持ちの方々が参加されている中、青木所長の素晴らしいファシリテーションで多面的な観点で意見を引き出されており、大変参考になりました。

少し時間が短かったようです。もっと皆さんの発言機会があったらと思います。

時間が限られていたせいか、ディスカッションの体を成しておらず、パネラー個々の講演を順番に聞いているようでした。特に富士通の深町さん。社の改革を長々と喧伝するだけで、テーマに寄せる素振りも見せない点は、大変残念です。もう少し短くまとめましょう。久米さんは、MCに聞かれたことへの回答が出来る様、もっと経験を積んで頂きたいなと思いました。テーマに対して、村上理事長や厚切りジェイソンさんからの敢えての異論などを交えつつ、ディスカッションとして盛り上がる形を期待していたので、少し残念でした。

## 第2部基調講演1

新谷美穂子様



### <参加者の意見・感想>

瞳目の内容ですね！

世界の宇宙政策に関する貴重な情報を伺えました。お喋りも非常に上手で、私のような者でも明快に理解できました。宇宙産業に参画するための諸活動は、まだまだ手の届かない世界という感覚がします。国内産業として活路を見出すべく、これからもたくさん情報発信して頂けますとありがたいです。

素晴らしい講演でした。また、新谷さんの宇宙への志が素晴らしい。

人工衛星ビジネスについて知らなかったのがよかった

スペースデブリについて少し気になります。これからどんどん上がっていく人工衛星でいつまで無視できるのかなあって。

女性、しかも子供持ちという事もありものすごく難しい事だと思うのに、自分では考えたことも無かったものをペラペラと書いていてただただ凄かったです。

宇宙分野において日本が10年以上、遅れているというのは衝撃的で、危機的状況だと感じました。

大分県が宇宙関連の拠点になって欲しいとあらためて感じました。

技術開発に偏りがちな宇宙関連の講演で、法制度の観点に関する重要性を再認識しました。

弁護士という立場からの考えを聞けていま日本には何が不足しているのか知ることができてよかったワクワクする話をありがとうございました

宇宙を技術面からでなく、法制面から取り上げていただき、初めての経験でとても興味深く、かつわかりやすく、身近なものとして捉えることができました。ありがとうございました。

色々凄いやつでもっと話を聞きたいです。

自身は宇宙の法律関係では明るくなかったため、新たな知見を得られてよかった

知らないことだらけで大変有益でした。ありがとうございました。

日本が世界に比べて対応に遅れているのが分かりました

日本はアジア No.1の宇宙先進国として持続可能な宇宙にしてゆく使命があると感じた。

スペースロイヤーという仕事をとてもわかりやすく解説いただきました。凄い！

宇宙関係の法律など知らない事ばかりだし、講師の熱い気持ちが伝わって、楽しく聴く事ができました。

日本は宇宙ビジネスにおいてかなり遅れを取っていることに危機感を覚えました。でも宇宙ゴミ回収サービスなど、ニッチで今後必要不可欠な分野に日本の技術が活かされることを期待します。

宇宙に関して法律という観点から関わりを持つようとしている人を知らなかったのも、とても参考になりました。

講演内容はもちろんの事、話しのテンポが素晴らしい。あっという間の 40 分でした。

宇宙ゴミ、、、考えさせられます。

日本は遅れているんだなと改めて思いました

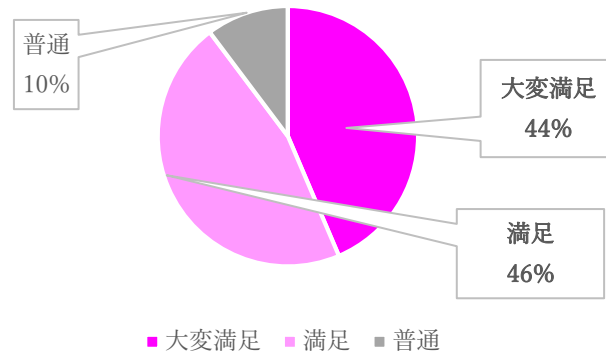
宇宙ビジネスにも、法律が必要だと初めて知ることができました。宇宙法が整備され、有事飛行ができるようになること楽しみにしています。

業務系 IT を中心としたソフトウェアベンダーに所属しているため、業務に関連して「宇宙」を意識していなかったため、大変参考になりました。



## 第2部 基調講演 2

高山久信様



### <参加者の意見・感想>

宇宙ビジネスにおける現状の説明が大変情報として参考になります。

地域、生活に利活用する上での課題の再認識、身近になる日がそこまで来ていることも感じられました。

大分空港の今後の発展の仕方や衛星から何が得られるのかを詳しく聞いてよかった

地域と絡めた宇宙の考え方を考えさせられるいいきっかけになりました。ありがとうございました

大分の取り組みを大変分かりやすく説明頂きました。

暮らしの中で使われる宇宙分野、今後の衛星データの活用方向に興味深く拝聴させていただきました。

具体的な宇宙港ができたことの恩恵や地域との関与が明らかになり、宇宙港への理解が進んだ

地域の発展に今後何が必要か分かった

大分県が宇宙ビジネスに関わるということを知り、誇らしく感じた

宇宙産業と大分県の関わりの全体像が明確に示された。

大分県の宇宙産業に関わる取組がよくわかりました。

大分がアジア初のスペースポートになり新たな経済圏ができるのが楽しみです。更には大樹町、下地島も宇宙ビジネスで成功することを期待しています。

これからの宇宙産業に関することについて、丁寧に教えてくれたので理解しやすかったです。

宇宙ビジネスの可能性の大きさを知り、大分の明るい未来を感じました。

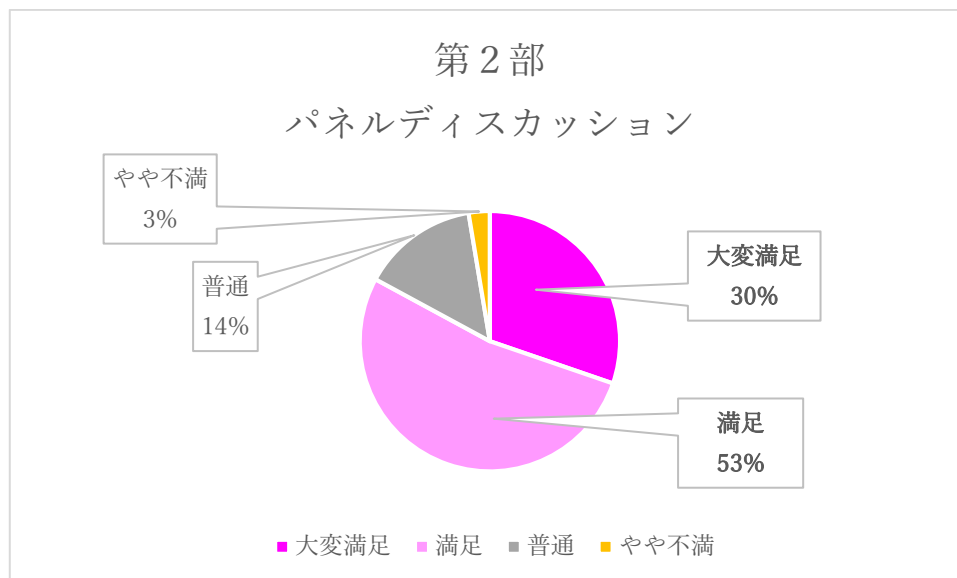
大分なりに色々考えている事がわかりました

宇宙ビジネスで、大分も大きく様変わりすることも間違いないと実感しました。さらに、誰でも関わることができる事を知り、身近な話題だと思いました。

業務でも自らの生活でも「宇宙」は切り離された世界と線引きをしていましたが、今回の講演で改めて生活の質向上には現時点でも関係している事を認識でき、大変有意義な場でした。視野が狭くなっている事を再認識できるよい機会でした。宇宙ゴミが多く存在していることに驚きました。

資料の情報が多過ぎて、若干、消化不良気味でした。もう少し勉強しておこうと思います。

地域活性化に繋がる提案など、興味深く拝聴しました。



### <参加者の意見・感想>

皆さんとてもいい話をされていて感動しました。

大分にも宇宙産業があるということを知れてよかった。パネリストたちの幼少期のエピソードとそこから現在に至るまでのプロセスに全てが詰まっているように思いました。「興味を持つ」その興味の灯が消えないようにし続けることが本当に何かを「成す」意味で重要なことだと感じました。

各分野でのリーダーの皆さんの原動力は、揃って夢に根差していることが伝わり、その大切さを改めて感じることができました。

講師の皆さんの宇宙に興味を持ったきっかけなど含めて、色々な話が聞けておもしろかったです。ありがとうございました

皆様凄い方だったのもっと時間があればと思いました。

登壇社の情報の粒度が一般知識しかない我々にもわかりやすいちょうど良い塩梅でよかった  
興味を持つことの大切さを知った

今の子供が宇宙に興味を持ち、日本での宇宙ビジネスに関する人手不足の解消され、発展してほしい。日本が10年以上の遅れを挽回するためには、分野横断と組み合わせが必要。宇宙産業やAIに関わる人材育成のために、STEAM教育にいつそう力を入れたい。

上津原さん、石井さんの専門家の話はとても具体的でしたし、情熱が伝わってきました。村上理事長のコメントも良かったと思います。

上津原氏、石井氏の現場のお話を聞き、多様な宇宙ビジネスがあることを知りました。

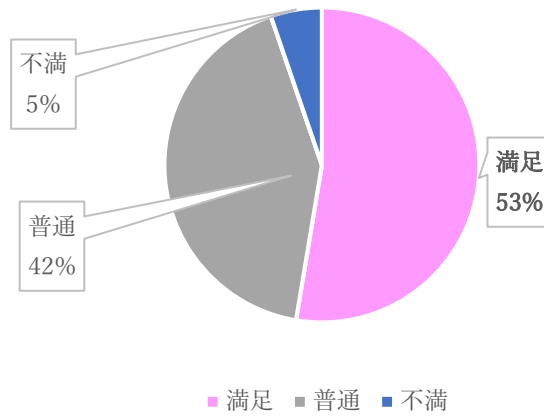
5人の方の意見、考え方などを知ることができたのと、学生に向けてこれからどういうことをしていくべきかを示してくれたので是非参考にさせていただきたいと思います。

色々な方の意見が聞けて面白かったです

「興味を持つ」この年でも夢を諦めず頑張りたいと思います。

少し時間が短かったようです。もう少し皆さんのご意見を聞かせていただきたかったです。でも、濃い内容で興味深く拝聴させていただきました。ありがとうございました。

## オンライン展示



### <参加者の意見・感想>

DXの取り組みについて参考になりました。

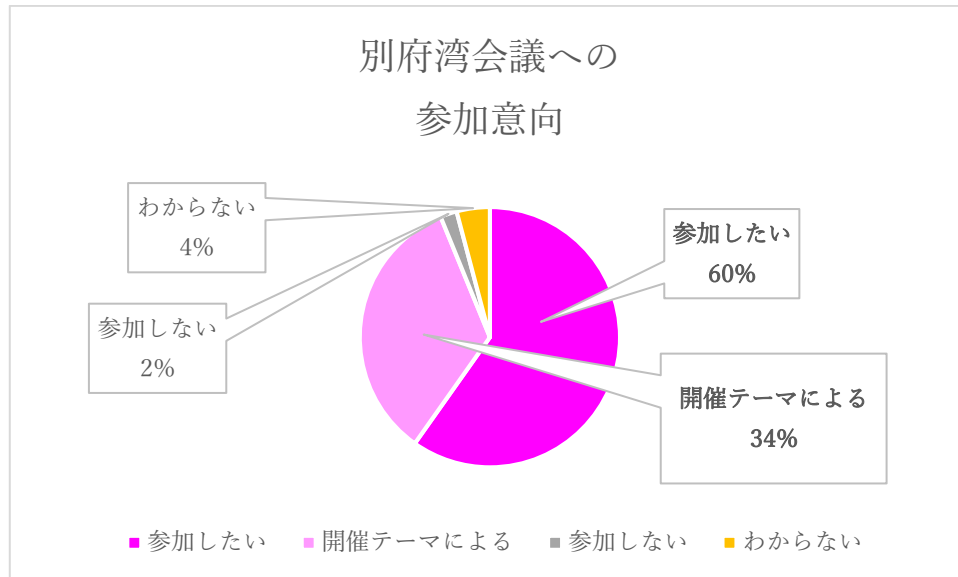
休憩中ではなく、改めて時間を取っていただければと思います。

会議と時間が完全に重なっていて、聴講のタイミングがほぼなかった  
事前に聴きたいものをリクエストで募るというのはどうでしょう？。

会議に並行しての開催ですと、観ることが出来ません

視聴時間が短すぎた

申し訳ありませんが、オンライン展示の見方が分かりませんでした。



#### <参加者の意見・感想>

とてもためになるから

さまざまな考えを吸収したい。

大分県が今何を目指しているのかを知りたい。

専門的で、最先端の講演が聞けます。

自分のビジネスにも活かすヒントをたくさん頂きましたので、是非、次回も参加したいです。

内容が新鮮で楽しめる。

興味ある内容について知りたいから

今後のビジネスの参考になりました

大分で今回のような先端テクノロジーに関して議論が行われている事に感銘を受け、今後もその雰囲気  
に触れていたいと思っているため。

大分県での MaaS ソリューションへ繋がりたい

そばにいなくても、オンライン経由で参加できること。

このような大分の最先端会議に参加できるのはありがたい

興味のある分野なら参加して見たい

内容が素晴らしかった

宇宙という分野にそれほど知見も興味もなかったのに、とてもワクワクする内容でした。

リモートで気軽に参加できるから。

仕事の一環として参加しているため、関連性を見出せる必要があります。

その分野のスペシャリストの考えを聞ける貴重な講演なので将来のためにも見聞を広めたい

すごく楽しかったから

自己啓発でき、モチベーションが上がるので。

まずは興味のある分野を深掘りしたいから

自分の知らないことにふれて、自分が興味をもったものを増やしたい

世界の中で、幸福度も競争力も低いのに国民の大半が気づいていない。「日本陥没」から立ち直るために大分県にできることを考えたいから。

毎回、先端の話を聴くことができているので楽しみます。

ネットや IOT など、最新の情報を知ることができること、また、宇宙港や地域活性化の話など、非常に興味深い話を聴く貴重な機会と考えています。

販路開拓の一助となるため

未来について新しい知識を得ると同時に、考えを整理することができるので。

様々な意見や知識を取り入れることができるから。

興味のある話題が多いため。

興味があるテーマ、専門家でなくてもわかるテーマなら参加したいです。

今回興味のある内容だったから参加したから

旬な話題に関するものや、地元大分に関するものなど知りたいからです。

以下の有用な機会と感ずる為、時間が許す限り参加したいと考えます。

- ・ハイパー研様、ご関係各所と対面でお会いできる有用な機会
- ・大分県の方向性(参加する都度、大きく挑戦されている事)を確認できる機会
- ・毎回視座について気づきをいただく良い機会

今年の別府湾会議は、他の講演会と同じように感じた。

来るかわからないから

参加できるかわからないから

## <その他意見、要望>

良い機会をいただきました。次回も参加させていただきたいと思います

事務局の皆様、お疲れ様でした。

大変貴重な会議に参加出来ました。

誠にありがとうございました。

貴重な体験ができて感謝します。

オンラインでの開催も含めて、いろいろご苦労が伺えました。基調講演内容については非常に満足できるものでした。ありがとうございました。パネルディスカッションについては進行や時間配分など2年後の在り方に期待します。お疲れさまでした。

ありがとうございました

濃い情報で良かったです

2日間に渡る貴重なお時間をいただきありがとうございました。遠い存在であった宇宙が、少し身近に感じられることができた気がします。

とても満足しています。もう1回みたいです。

講演のレベルが非常に高く、大変満足できました。

たくさんの専門家の方々の貴重なお話しを伺う機会を作ってください、ありがとうございました。これから、宇宙関連の事柄にアンテナを張って生活したいと思います。

貴重なお話を聴く機会をつくってください、ありがとうございました！

落ち着いたとはいえアフターコロナになっていない中で、本会を実施いただいた事、改めて厚く御礼申し上げます。

非常に大変だったかと思いますが、ご関係一同様のご尽力にて安心して会議に参加することができました。

内容をその場で理解出来ない所も多く、勉強振り返る為にも資料を頂きたいのですが。

SlideのQR読み込みタイミングを逸してなかなか質問できなかったのも、頻繁に出して頂きたいです。スラドの質問に対してクレームしました、司会が直接見れて質問の取り上げを判断出来るようにすべき。雇われの司会よりも会議の内容を理解しているひとが、進行や質問のさばきに当たるべきだと強く感じました。

①本セッション終了後のブレイクアウトルームでの待機時間をもう少し短くできないでしょうか？

②ブレイクアウトルームに入っている時にチャットで連絡して頂いてもその内容はブレイクアウトルームで見れません。また、本セッションに戻っても同じで見れません。チャットを送付される場合は、全員に本セッション戻るような対応が必要と考えます。

# ハイパーネットワーク別府湾会議2021

## 事務局、実行委員会活動実績

### 1. 企画会議開催

- ・ 第1回 4月27日(火) 13:00~14:00  
議題: 開催趣旨、開催テーマ案
- ・ 第2回 5月11日(火) 13:00~14:00  
議題: 開催テーマ、開催日程、場所
- ・ 第3回 5月18日(火) 13:00~14:00  
議題: 今後の進め方、役割分担
- ・ 第4回 5月25日(火) 13:00~14:30  
議題: 各役割分担項目、懸案事項
- ・ 第5回 6月10日(木) 13:00~15:00  
議題: 第1回実行委員会資料素案
- ・ 第6回 6月18日(金) 8:30~17:00  
概要: 別府湾会議会場候補(姫島)現地視察、打合せ
- ・ 第7回 6月22日(火) 13:00~14:00  
議題: 別府湾会議の費用予算関連
- ・ 第8回 7月 6日(火) 9:00~10:00  
議題: 開催プログラム案、構成案  
7月 6日(火) 13:30~14:30  
概要: 県DX推進課との企画概要打合せ
- ・ 第9回 7月 8日(木) 14:00~15:00  
議題: 開催プログラム案、講演者候補、構成案
- ・ 第10回 7月13日(火) 13:00~14:00  
議題: 開催プログラム案、講演者候補、構成案
- ・ 第11回 7月20日(火) 11:30~14:00  
概要: レンブラントホテル大分下見、会場調査  
7月20日(火) 15:00~16:00  
概要: NTT西日本大分支店 訪問、趣旨説明
- ・ 第12回 7月27日(火) 10:00~11:00  
議題: 全体構成、スケジュール案
- ・ 第13回 8月 3日(火) 14:30~15:30  
議題: 実行委員会の資料案

- ・ 第14回 8月 8日(日) 17:00~18:00  
 概要: 村上理事長への企画概要説明、講演依頼
- ・ 第15回 8月10日(火) 13:00~14:00  
 議題: 今後の進め方(講師アポや集客)、進捗状況の確認
- ・ 第16回 8月17日(火) 13:00~14:00  
 議題: 班別進捗状況の説明  
 8月17日(火) 16:00~17:00  
 議題: 関係者契約関連
- ・ 第17回 8月20日(金) 10:00~11:00  
 議題: ホームページ掲載案
- ・ 第18回 8月24日(火) 13:00~15:30  
 議題: 印刷の進捗状況、オンライン展示の概要、共同研究員意見伺い
- ・ 第19回 8月30日(月) 11:00~12:00  
 議題: チラシの校正
- ・ 第20回 8月31日(火) 13:00~14:30  
 議題: 量子コンピューター関係のパネリスト、ビデオメッセージ、オンライン展示の企画概要、双方向でのディスカッション、チラシ文面確定
- ・ 第21回 9月 3日(金) 10:00~11:00  
 概要: QPS研究所との打合せ、パネル依頼
- ・ 第22回 9月 7日(火) 13:00~14:00  
 議題: 知事レク用資料、オンライン展示の進捗状況、双方向での意見交換の作り方チラシ印刷変更WEB
- ・ 第23回 9月 8日(水) 13:00~15:00  
 概要: QPS研究所への企画概要の打合せ、意見交換
- ・ 第24回 9月21日(火) 13:00~15:00  
 議題: オンライン展示の打合わせ結果、意見交流の場の作り方、講師謝金旅費
- ・ 第25回 9月22日(水) 19:00~20:00  
 概要: エシカルコーディネーター久米様との打合せ、パネル依頼
- ・ 第26回 9月28日(火) 14:00~15:00  
 議題: 意見交流の場作り原案、講師謝金・旅費等内容確認
- ・ 第27回 10月5日(火) 10:00~11:00  
 議題: 企画案で進捗状況があれば報告、関係者回り(広報)案、所員の意見を反映させた「双方向での意見交流の場作り」の原案、講師の謝金、旅費
- ・ 第28回 10月12日(火) 10:00~11:00  
 概要: minsora 高山様との打合せ、基調講演概要の説明  
 10月12日(火) 13:00~14:00  
 議題: 写真入りチラシとHP、関係者回り・広報案、支出見込み額確認



- 第29回 10月14日(木) 15:30~16:30  
 概要: NTT西日本への共催依頼他
- 第30回 10月19日(火) 13:00~14:30  
 議題: 関係者案内メールの発送状況、会議当日の所員全員の詳細な動き案作成  
 状況宮崎との打ち合わせ状況の報告、2部の講師・パネリスト等との打ち合わせの計画、1部の講師・パネリスト等との打ち合わせの計画
- 第31回 10月21日(木) 10:00~11:00  
 議題: スケジュール関係
- 第32回 10月22日(金) 13:30~14:30  
 概要: レンブラントホテル大分との会場打合せ
- 第33回 10月26日(火) 13:00~14:00  
 議題: 個人別時間割の作成状況、案内メールの発送件数、当日タイムスケジュールオンライン展示企画、講師・パネリスト等との打ち合わせの結果  
 10月26日(火) 14:00~15:00  
 概要: 住友商事 寺部様との企画概要打合せ、パネル依頼
- 第34回 10月27日(水) 9:00~10:00  
 概要: 大分県との第1部、第2部企画概要打合せ
- 第35回 11月 2日(火) 13:00~14:00  
 議題: 個人別時間割、案内状メールの郵送・発送状況、タイムスケジュール、オンライン展示報告、講師・パネリスト等との打ち合わせの結果
- 第36回 11月10日(水) 14:00~15:00  
 議題: 準備するもの(講演資料、アンケート、次第等、個人別時間割の確定版、広報メール等の発送状況と件数、タイムスケジュール、オンライン展示申込状況、講師・パネリスト等との打ち合わせの結果、申し込みの人数の状況
- 第37回 11月16日(火) 11:00~12:00  
 議題: 参加メンバー、準備リスト案(次第、備品等々)、個人別時間割、タイムスケジュール、ステークホルダーとの意見交換、1部・2部のパネラーとの打ち合わせ状況、会議参加申し込み状況、宇宙関係パネル内容、オンライン展示
- 第38回 11月22日(月) 10:00~11:00  
 概要: 第1部パネルディスカッション事前打合せ
- 第39回 11月29日(月) 10:00~11:00  
 概要: 座席案、準備資料案・作成状況、パネラーとの打ち合わせ状況、参加申込状況、オンライン展示  
 11月29日(月) 10:30~12:00  
 概要: ビデオメッセージに関する事前打合せ

- ・ 第40回 12月 3日(金) 10:00~12:00  
概要: レンブラントホテル大分とのプログラム、当日対応打合せ
- ・ 第41回 12月 6日(月) 10:30~12:00  
概要: ビデオメッセージの取材、録画対応
- ・ 第42回 12月 7日(火) 13:30~15:00  
議題: 当日進行案、配信機材の準備品リスト等
- ・ 第43回 12月13日(月) 9:00~14:30  
概要: Zoom 配信、会場確認、プログラム案、来賓席等
- ・ 第44回 12月14日(火) 13:00~15:00  
概要: 進行、配信機材、講演資料、参加者、レイアウト等  
12月14日(火) 16:00~17:00  
概要: 司会との原稿確認、打合せ
- ・ 第45回 12月15日(火) 13:30~15:00  
概要: 準備品リスト, プログラム校正、手順シナリオ作成等
- ・ 第46回 12月16日(火) 13:30~15:00  
概要: 音響・照明担当者との打合せ、台本資料作成
- ・ 第47回 12月17日(金) 13:30~15:00  
概要: 機材、資料の搬送、準備等
- ・ 第48回 12月19日(日) 14:00~18:30  
議題: 設営、リハーサル、配信テスト

## 2. 実行委員会開催

- ・ 第1回 令和3年8月6日(金) 13:00~14:00  
議題: 役員選任、事業計画、収支予定、プログラム企画案の意見交換
- ・ 第2回 令和4年3月10日(木) 9:00~10:00  
議題: 収支決算報告、開催結果の概要及びアンケート集約結果報告

### (3) ハイパーネットワーク別府湾会議2021を終えて

ハイパーネットワーク別府湾会議実行委員会 運営事務局  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

1990年から始まった別府湾会議ですが、今回はコロナ禍での厳しい環境下で無事、盛大に開催されました。約2年前から急速に広がった新型コロナは私たちの生活を一変し、人々の暮らし、人生の在り方について、大きな転換を余儀なくされました。このような中で、会議のテーマでもある「クオンタム思考で世界へ！宇宙へ！」は、皆に共通した壮大な重要なテーマでありました。

今回、別府湾会議では初の取組となる「会場参加」及び「オンライン参加」のハイブリッド形式を取り入れましたが、予想を大幅に上回る多数のお申込を頂くとともに、会議終了後には出席者から多くの賛辞、開催に対するお礼のお言葉を頂きました。また、会場内、オンライン上双方から多数のテーマ、講演に対する質問、ご意見も挙がったことから、出席者の皆さまが、講演者、パネリストとともに「クオンタム思考」「ウェルビーイング」「宇宙ビジネス」といったキーワードから、近い将来の新たな楽しいワクワクする世界を考えて頂けたのではないかと考えております。

更に、両日とも併行して、オンライン展示を行い、第2部終了後は参加者同士のオフ会も催しました。参加者数は多数とまでいかなかった一方で、テーマに関心のある積極的な方が集まり、活発な議論を交換できたため、今後の企画や運営に繋がる取組でありました。

最後に、今回の別府湾会議を開催するにあたって協力頂いた実行委員会メンバーの皆さま、ご後援の総務省、九州経済産業局、ご協賛の株式会社オーイーシーご関係者の皆さま、講演者、パネリストの皆さま、前日までの準備や当日運営に携わった当研究所のスタッフの皆さまにこの場を借りまして厚くお礼申し上げます。

(文責:石松 博文)

#### (4) 実行委員・運営スタッフ

##### ハイパーネットワーク実行委員会

委員長	青木 栄二	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 所長
副委員長	日高 健司	富士通 Japan 株式会社大分支社 支社長
副委員長	大村谷 輝	西日本電信電話株式会社大分支店 支店長
監事	冨森 章裕	日本電気株式会社大分支店 支店長
委員	藤井 正直	大分県商工観光労働部 DX 推進課長
オブザーバー	佐藤 元彦	大分県商工観光労働部 先端技術挑戦課長

##### 事務局スタッフ

ハイパーネットワーク社会研究所	専務理事	高屋 博
	主幹研究員	石松 博文
	主幹研究員	貞金 孝治
	主幹研究員	森迫 亮
	主幹研究員	松永 秀二郎
	主任研究員	坂口 萌々子

##### 当日運営スタッフ

ハイパーネットワーク社会研究所	ディレクション	高屋 博
	企画・挨拶	青木 栄二
	機器・設営	貞金 孝治
	機器・設営	松永 秀二郎
	オンライン展示	森迫 亮
	参加受付・手配	渡辺 律子
	写真撮影	足立 郁
	写真撮影	小山 玄
	写真撮影	原田 美織
	動画編集	矢野 歩美
	参加受付・手配	渡辺 律子
	参加受付・手配	植木 清美
	会計	相原 幸
	会場手配	坂口 萌々子
	渉外調整	石松 博文

レンブラントホテルスタッフの皆さま

テイクファイブスタッフの皆さま

■■ 資料集 ■■

(1) 制作物

①チラシ A4 両面カラー

**ハイパーネットワーク別府湾会議2021**  
HyperNetwork BEPPUBAY CONFERENCE 2021

**世界へ！宇宙へ！**

コロナの大流行の中で  
IoTやAI、ドローン、アバター等の先端技術は  
「新しい生活様式」を支える技術として  
活用が拡大している。

また、アジア初の宇宙港・大分空港からの  
水平型人工衛星打ち上げに向けたスタートを切り、  
明るい希望に向かって走り始めている

**クオンタム思考で**

12月20日(月) 13:30-17:30 / 21日(火) 9:00-12:00

開催形式

会場参加 — レンブラントホテル大分 2階 100名  
オンライン参加 — ZOOMウェビナーを予定  
※新型コロナウイルス感染状況が変化した場合、完全オンラインの可能性あり

基調講演者

DAY 1  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事 村上 憲郎  
ITベンチャー企業 テラスカイ役員 兼 シェアード 厚切リジェイソン 氏

DAY 2  
一般社団法人スペースポートジャパン 理事 新谷 美保子 氏  
一般社団法人 新創イノベーションセンター 理事 高山 久保 氏

— 両日 司会者 —  
大分県出身 フリーアナウンサー 幸 綾音 様

主催：ハイパーネットワーク別府湾会議実行委員会(大分県、西日本電気電話株式会社大分支部、日本電気株式会社大分支店、富士通Japan株式会社大分支社、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所)

後援：総務省、九州経済産業局

公益財団法人  
ハイパーネットワーク社会研究所  
INSTITUTE FOR HYPERNETWORK SOCIETY

**PROGRAM**

※ 時間によりイベントは予告なく変更・中止する可能性があります

**DAY 1**  
12月20日(月) 13:30-17:30

ニューノーマル時代において、  
新しい価値を生み出すクオンタム思考とは  
～日常感覚の世界を飛び越えたような比喩なき思考法とは～

■オープニング 9:00～  
主催者挨拶 13:30～13:35  
知事挨拶 13:35～13:40  
関係者挨拶 13:40～13:55

■セッション 13:55～17:25  
■基調講演1  
「ニューノーマル時代に地方に暮らす私たちは、  
この時代をどう生き抜くか？」  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事 村上 憲郎

■基調講演2  
「Why Japanese People!  
なんでやりたいことをやらないの？」  
ITベンチャー企業 テラスカイ 厚切リジェイソン 氏

■パネルディスカッション  
「クオンタムな時代のウェルビーイング」  
【コーディネーター】  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事 青木 栄二

【パネリスト】  
公益財団法人九州大学 工学部 工学部 久米 春花 氏  
株式会社 Quantum Transformation/DTI 代表 寺部 雅範 氏  
富士通株式会社 Employee Success 本部 深町 弘明 氏  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事 村上 憲郎  
ITベンチャー企業 テラスカイ 厚切リジェイソン 氏

【ビデオメッセージ(予定)】  
経済産業大臣 林 芳浩 氏  
大分大学 特任教授 丹元 雅之 氏

■閉会挨拶 17:25～17:30

**DAY 2**  
12月21日(火) 9:00-12:00

アジア初水平型宇宙港  
×先端技術×DX  
～明るい未来と活力の源の創出～

■オープニング 9:00～  
■セッション 9:05～11:55  
■基調講演1  
「大分県から広がる人工衛星打ち上げ  
関連ビジネスの可能性について」  
一般社団法人スペースポートジャパン 理事 新谷 美保子 氏

■基調講演2  
「宇宙と地域を活性化させる  
新しいサービス創出について」  
一般社団法人スペースポートジャパン 理事 高山 久保 氏

■パネルディスカッション  
「宇宙ビジネスの可能性」  
【コーディネーター】  
大分県商工観光振興部 先端技術情報課 佐藤 元彦 氏

【パネリスト】  
一般社団法人スペースポートジャパン 理事 新谷 美保子 氏  
一般社団法人スペースポートジャパン 理事 高山 久保 氏  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事 村上 憲郎  
日本電気株式会社 電気事業本部 シェアード 石井 孝和 氏  
株式会社IPS研究所 執行役員 情報課 博士(工学) 上建 正彦 氏

■閉会挨拶 11:55～12:00

【司会者】 大分県出身 フリーアナウンサー 幸 綾音 様

別府湾会議2021 申込書

申込方法は下記の3通りです。①～③のいずれかで、下記必要項目を入力し、お申込みください。

- ① Webフォーム
- ② メール [bbc@hyper.or.jp](mailto:bbc@hyper.or.jp)
- ③ FAX 097-537-8820  
電話 097-537-8180

<b>申し込み</b>	<b>氏名</b>	<b>参加形式</b>
<b>所属</b>	<small>※法人・団体の方は 企業・団体名をご記入ください</small>	<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> オンライン参加
<b>電話番号</b>		<small>質問やご意見のございましたら、こちらにご記入ください</small>
<b>メールアドレス</b>		
<b>オンライン表示の依頼</b>	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	

【お問い合わせ先】 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 (福岡・石垣・鹿児島・鹿児島・福岡)  
〒870-0037 大分県東春日町51-6 大分県2ツティアラザビル4F **定員になり次第受付を終らせていただきます。**



②次第 A4

**講演へのオンラインでの質問・コメント受付はこちら**

**【1. QRコードを利用】(スマートフォン・タブレットの方)**

- 1 お持ちのスマートフォン・タブレットで下のQRコードを読み取って、②に進む
- 2 “質問を入力”を選択する
- 3 キーボードを使って質問内容を入力し“送信”を選択する
- 4 コメントが投稿され、画面に表示される

質問・コメント投稿 slido QRコード

①質問内容を入力 ※“講演者(○)さんへ!”から始めてください

②送信

※“名前を追加”は空欄で構いません

表示 “人気”が多い順 “最近”最新順

**アンケートへの回答はこちら**

※QRコードは株式会社フロンティアソフトウェアの登録商標です。

ハイパーネットワーク別府湾会議実行委員会/公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所(石松、石川、高橋、長谷、松本)

**ハイパーネットワーク別府湾会議2021**  
HyperNetwork BEPPUBAY CONFERENCE 2021

**世界へ！宇宙へ！**

クオインタム思考で

コロナの大流行の中でIoTやAI、ドローン、アバター等の先端技術は「新しい生活様式」を支える技術として活用が拡大している。

また、アジア初の宇宙港・大分空港からの水平型人工衛星打ち上げに向けたスタートを切り、明るい展望に向かって走り始めている

**日時**  
12月20日(月)/21日(火)  
13:30-17:30 / 9:00-12:00

**開催形式**  
— 会場参加 —  
レンブラントホテル大分 2階  
— オンライン参加 —  
ZOOMウェビナー

主催：ハイパーネットワーク別府湾会議実行委員会（大分県、西日本電信電話株式会社大分支店、日本電気株式会社大分支店、富士通Japan株式会社大分支店、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所）  
協賛：株式会社オーイシー  
後援：総務省、九州経済産業局

**DAY1 12月20日(月) 13:30-17:30**

**第一部 [ニューノーマル時代において、新しい価値を生み出すクオインタム思考とは～日常感覚の世界を飛び越えたような比喩なき思考法とは～]**

13:30～13:40 **主催者挨拶**  
実行委員長 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 所長 青木 榮二

13:40～13:45 **知事挨拶** 大分県知事 広瀬 謙吉 氏

13:45～14:00 **実行委員挨拶**  
西日本電信電話株式会社 大分支店 支店長 大村 浩 氏  
日本電気株式会社 大分支店 支店長 藤森 康輔 氏  
富士通Japan株式会社 大分支店 大分支社長 田島 健司 氏

14:00～15:00 **基調講演1「ニューノーマル時代に地方に暮らす私たちはこの時代をどう生き抜くか？」**  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎

15:00～16:00 **基調講演2「Why Japanese People! なんてやりたいことをやらない？」**  
ITベンチャー企業テラスカイ役員兼サテライト 厚切ジエンイン 氏

16:00～16:10 **休憩・ビデオメッセージ** 大阪大学名誉教授/特任教授 東京大学特命教授 井元 信之 氏  
インテリピューア/公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 共同研究員 金津 泉 氏

16:10～17:30 **パネルディスカッション「クオインタム時代のウェルビーイング」**  
コーディネーター/公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 所長 青木 榮二  
パネリスト:  
住友商事株式会社 Quantum Transformationプロジェクト代表 寺部 雅樹 氏  
富士通株式会社 Employee Success本部 深町 弘明 氏  
エンカユ/コーディネーター 久米 彩花 氏  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎 氏  
ITベンチャー企業テラスカイ役員兼サテライト 厚切ジエンイン 氏

17:30～ **事務連絡**  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 主幹研究員 石松 博文

**DAY2 12月21日(火) 9:00-12:00**

**第二部 [アジア初水平型宇宙港×先端技術×DX～明るい未来と活力の源の創出～]**

9:00～9:50 **基調講演1「大分から広がる人工衛星打ち上げ関連ビジネスの可能性について」**  
一般社団法人スペースポートジャパン 理事 新谷 美保子 氏

9:50～10:40 **基調講演2「宇宙と地域を活性化させる新しいサービス創出について」**  
一般社団法人おいたいスペースフューチャーセンター 専務理事 高山 久徳 氏

10:40～10:50 **休憩**

10:50～11:55 **パネルディスカッション「宇宙ビジネスの可能性」**  
コーディネーター/大分県工業技術振興部 先端技術振興部長 佐藤 元彦 氏  
パネリスト:  
株式会社OPS研究所 執行役員開発部長 博士(工学) 上津原 正彦 氏  
日本電気株式会社 電装・誘導事業部 シニアエキスパート 石井 幸和 氏  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 理事長 村上 憲郎 氏  
一般社団法人スペースポートジャパン 理事 新谷 美保子 氏  
一般社団法人おいたいスペースフューチャーセンター 専務理事 高山 久徳 氏

11:55～12:00 **閉会挨拶**  
公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 専務理事 高橋 博

**オンライン展示 (別府湾会議との同時開催)**

**日時** 12/20(月) 14:00～17:00 | 12/21(火) 9:00～12:00 | **実施形式** ZOOM(※ブレイクアウトルーム)  
※出展の場子は、後日オンライン公開予定

**出展企業** 6社(株式会社IoT/株式会社佐々木精工/日本電気株式会社大分支店/富士通Japan株式会社大分支店/株式会社STOVE/西日本電信電話株式会社大分支店) | **一般参加** 50名程度(予定)

**概要** 企業等の会社紹介や製品・ソリューション紹介を15分間オンライン(ZOOM形式)にて実施。紹介以外の時間は出入り自由なブレイクアウトルームにて対応(担当者、動画、静止画)

**運営** 株式会社宮崎崎ソフトウェアセンター

**①オンライン展示イメージ**

一般参加者数: 50名程度

企業スケジュールに応じて本セッション内にて企業説明を15分間実施

例: A社 1日目 14:00-14:15  
2日目 09:00-09:15

出入り自由

企業説明以外はブレイクアウトルーム対応(担当者、動画、静止画)

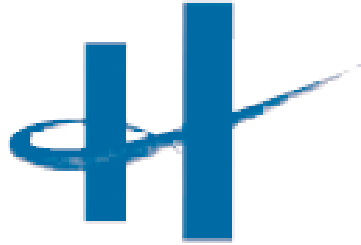
**②出展企業一覧**

出展社名	展示タイトル
株式会社IoT	AI顔認証受付管理システムアプリ「FaceIndex」
株式会社佐々木精工	佐々木精工会社概要紹介 ロボット/画像処理を使った自動検設計/製作精密部品加工と部品調達代行
日本電気株式会社大分支店	宙から地球を知ること、それは、守ること。
富士通Japan株式会社大分支店	ニューノーマル社会における働き方改革を支援するソリューション「FUJITSU Software TIME CREATOR」
株式会社STOVE	エンジニアX～システムに魂が入る瞬間～
西日本電信電話株式会社大分支店	NTTグループ公式ビジネスチャット elgana(エルガナ)のご紹介

③ホームページ <https://www.hyper.or.jp/news/463/>

(2) 講演資料

掲載省略



ハイパーネットワーク別府湾会議 2021 実行委員会

事務局 ハイパーネットワーク社会研究所

〒870-0037 大分県大分市東春日町 51-6 大分第二ソフィアプラザビル4F

URL:<https://www.hyper.or.jp> Mail:[bbc@hyper.or.jp](mailto:bbc@hyper.or.jp)